

平成 21 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2 月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	マクロ経済学

以下の問 1 と問 2 の両方に解答しなさい。問 1 は解答用紙の 1 枚目(第 1 ページと第 2 ページ)を、問 2 は解答用紙の 2 枚目(第 3 ページと第 4 ページ)を用いて解答しなさい。

問 1 閉鎖経済の IS-LM モデルを考える。C : 消費、Y : 国民所得、I : 民間投資、r : 利子率、L : 貨幣需要、M : 貨幣供給とし、ある経済において次の関係が成立している。

$$C=0.8Y+60 \cdots\cdots\textcircled{1}$$

$$I=56-500r \cdots\cdots\textcircled{2}$$

$$L=224+0.2Y-500r \cdots\cdots\textcircled{3}$$

$$M=300 \cdots\cdots\textcircled{4}$$

完全雇用の国民所得水準を 500 とする。ただし、国際貿易や租税は存在しないものとし、物価水準は一定であるとする。

- (1) 財市場の均衡条件 (IS 式) を導出しなさい。
- (2) 貨幣市場の均衡条件 (LM 式) を導出しなさい。
- (3) 財政政策により完全雇用を達成する場合、公共投資 (G) はいくら必要か? その値を導出しなさい。
- (4) 金融政策により完全雇用を達成する場合、貨幣供給は (追加的に) いくら必要か? その値を導出しなさい。
- (5) (3)および(4)それぞれの場合について、IS・LM 曲線のシフトの様子を図示しなさい。

問 2 以下の経済用語の意味を簡潔に説明しなさい。

- (1) モラル・ハザード
- (2) マネタリー・ベース
- (3) 購買力平価説
- (4) パーシェ物価指数
- (5) オークンの法則
- (6) リカードの等価命題
- (7) ピグー効果

以上